

第2学年 体育科学習指導案

令和2年10月28日(水) 第5校時
大田区立松仙小学校 2年3組 33名
授業者

校内研究のテーマ

「楽しい」授業の創造

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて～

1 単元名

走の運動遊び 「ジグザグぴよんぴよんリレー」

2 単元の目標及び単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の目標	走の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けることができるようにする。	走る簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	走の運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
評価の視点を整理	<ul style="list-style-type: none"> ・走の運動の行い方を理解している。(知識) ・いろいろなコースを走ったり、低い障害物を走り越えたりすることができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動遊びの場の中から自己に適した場を選んだり、コースや走り方を工夫したりしている。(思考・判断) ・自分の考えを他者に伝えている。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ・走の運動に進んで取り組みようとしている。(愛好的態度) ・準備や片付けを、友達と一緒に取り組みようとしたり、折り返しリレーをするときに、順番やきまりを守り、誰とでも仲良くしたりしようとしている。(責任・参画)(公正・協力) ・リレー遊びの勝敗を受け入れようとしている。(共生) ・場や用具の安全に気を配って運動している。(健康・安全)
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①折り返しリレーのやり方や障害物に合わせた走り越え方に気付いている。(知識) ②いろいろなコースを走ったり、低い障害物を走り越えたりすることができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ①走ったり、障害物を越えたりなど、いろいろな運動遊びの場の中から自己に適した場を選んだり、コースや走り方を工夫したりしている(思考・判断) ②自分の考えをチームのメンバーに伝えたり、全体で共有したりしている。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ①走の運動に進んで取り組みようとしている。(愛好的態度) ②準備や片付けを、友達と一緒に取り組みようとしたり、折り返しリレーをするときに、順番やきまりを守り、誰とでも仲良くしたりしようとしている。(公正・協力)(責任・参画) ③リレー遊びの勝敗を受け入れようとしている。(共生) ④場や用具の安全に気を配って運動している。(健康・安全)

3 単元について

○学習指導要領の位置づけ

〔第1学年及び第2学年〕

1 目標

- (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
- (2) 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

2 内容

C 走・跳の運動

走・跳の運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動遊びの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともにその動きを身に付けること。
ア 走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすること。
- (2) 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすること。

これを踏まえて本単元では、児童がいろいろな障害物の走り越え方について考えたり、リズムよく走り越えたりする楽しさを感じながら、基本的な動きを身に付けられるようにしていきたい。単元の前半では、折り返しリレーのやり方を確認し、徐々に障害物の種類を増やしていき、それぞれの障害物に合った走り越え方でリレーを行っていく。後半では、複数の障害物を組み合わせてリレーをしたり、チームで話し合いながら自分たちで障害物を選び、置く順番を考えてコースを作ったりする活動を行っていく。話し合い活動では、児童がこれまでの活動で感じたリズムの良さや楽しさを共有しながら、一人一人の意見がコース作りに活かされるように支援・声掛けをしていく。

○運動の特性

【一般的特性】

○機能的特性（運動欲求の充足）

- ・思い切って走ったり、調子よく駆け抜けたりの心地よさや爽快感を味わえる運動である。
- ・自己の目指す記録を達成することの楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

○構造的特性（運動の技術的な構造）

- ・手足を前に送り出したり、地面の反動を利用したりしながら行う運動である。
- ・低い姿勢で走り出すことで、素早くスタートできる運動である。
- ・一定のリズムで走ることで、スピードを落とさず走ることができる運動である。
- ・日常的な運動であるため、今もっている力で十分に行える運動である。

○効果的的特性（運動の身体的な効果）

- ・走るコースに合わせて体を操作しながら、走る運動の基盤となる動きを身に付けることができる運動である。

【児童から見た特性】

- ・仲間と速さや距離を競い合ったり工夫したコースを走ったり調子よく走ったりすることが楽しい運動である。

○児童の実態

本学級の児童は、体育の学習に意欲的に取り組んでいる。体を動かすことが好きで、休み時間はほとんどの児童が校庭や体育館・屋上で体を動かして遊んでいる。遊びの様子を見ると、鬼ごっこでは一直線に逃げたり、目の前しか目線に入っておらず斜め前から走ってきた友達にぶつかったりするなど、体の動かし方が未熟な様子が見られる。本単元を通して、体のバランスを取りながら運動したり、視野を広くもったりしながら運動する経験を積ませたいと考える。

また、勝敗を受け入れ、チームで協力して活動を行っていくために、単元を通して「ふわふわ言葉」と称する、友達を励ます言葉やアドバイスの言葉を見取り、付箋に書いて掲示し可視化する。可視化することで、語彙が少ない児童にとっての見本となったり、ふわふわ言葉で伝えあう学習環境を作ったりすることができると思う。

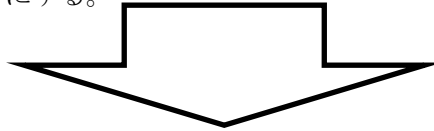
○研究の視点

単元や1時間の授業構成の工夫

- ・松仙小学校の体育授業の流れをもとに1時間の授業を構成する。
- ・学習カードを活用し、指導と評価の一体化を図る。

環境構成の工夫

- ・さまざまな障害物を用意し、走ることに興味をもったり関心を高めたりして活動できるようにする。
- ・友達を励ましたりアドバイスしたりする時の言葉を付箋に書き、掲示することでチームで協力したり勝敗を受け入れて活動したりできるようにする。



○テーマに迫る手立て(研究の視点から)

主体的な学び	<p>単元や1時間の授業の構成</p> <ul style="list-style-type: none">・児童が見通しをもって学習に取り組むことができるように、1時間の学習の流れを示したり、めあてを掲示したりする。 <p>教材・場の工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・走ることに興味や関心をもてるように、さまざまな種類の障害物を準備する。・自分の言葉で表現をするのが苦手な児童のために、振り返りの一部を選択肢にする。
対話的な学び	<p>時間の設定</p> <ul style="list-style-type: none">・意欲をもって繰り返し挑戦できるように、自分たち以外のコースに挑戦したり、友達に速く走れるコツを教えたりする時間を設定する。 <p>教材の工夫（話し合い）</p> <ul style="list-style-type: none">・児童一人一人の意見がコースの工夫に反映できるように、ホワイトボードに障害物の配置を貼りながら話し合えるカードを用意する。（チームの人数を5～6人に設定する。）
深い学び	<p>活動計画の工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・障害物に合った走り越え方を意識してコース作りができるように、障害物の種類を徐々に増やしていき、走り越え方について話し合う時間を設定する。・さまざまなリズムで走り越えることの楽しさに気付けるように、自分たち以外のチームのコースに挑戦したり、他のチームの工夫を取り入れたりする時間を設定する。

4 単元の活動計画（全6時間）

時間	1	2	3	4	5（本時）	6	
学習段階	折り返しリレーのルールを理解し、障害物に合った走り越え方を知る。			障害物を組み合わせたコースを走り、いろいろなリズムで走り越えることの楽しさを感じる。			
ねらい	学習の見通しをもち、折り返しリレーのルールを確認する。バトンパスの方法や走る向きなど場の安全に気を付けて運動する。	障害物が加わることで、リズムが変わる楽しさを感じる。	障害物の種類によって、走り越え方が変わる楽しさを感じる。	障害物を組み合わせることで、障害物に合わせてリズムよく走り越す楽しさを感じる。	自分たちで障害物の種類や、障害物同士の間隔を決めて、コースを作り、リレーを楽しむ。	自分たちで作ったコースや他のチームが作ったコースに挑戦しながら、さまざまなリズムの折り返しリレーを楽しむ。	
学習活動	1めあての確認	1めあての確認	1めあての確認	1めあての確認	1めあての確認	1めあての確認	
	ルールを守って、折り返しリレーをしよう。	障害物に合わせて、いろいろな走り方をしよう。		障害物を組み合わせた折り返しリレーをしよう。	自分たちで障害物の置き方や順番を決めて、コースを作ろう。	他のチームのコースに挑戦しよう。	
	2 準備運動						
	3 ウォーミングアップタイム ・鬼遊びをする。		3 ウォーミングアップタイム ・ねことねずみをする。				
	4 場の準備						
	<ul style="list-style-type: none"> ・バトンパスの方法や折り返しリレーのルールを確認する。 5 チャレンジタイム ・障害物（ロープ）に合わせて走り越える。ロープの形に添って走ることを確認する。 6 リレータイム ・障害物（ロープ）を含んだ折り返しリレーをする。 ・ ・レースを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 5 チャレンジタイム ・障害物（コーン）に合わせて走り越える。コーンを避けてジグザグに走り越えることを確認する。 ・障害物（ロープ）を組み合わせたコース走り越える。 6 リレータイム ・障害物（ロープ、コーン）を含んだ折り返しリレーをする。 ・他に障害物になりそうなものを考える。 ・レースを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 5 チャレンジタイム ・障害物（段ボール）に合わせて走り越える。 ・障害物（ケンステップ）に合わせて走り越える。 6 リレータイム ・障害物（ケンステップ、段ボール）を組み合わせた折り返しリレーをする。 ・レースを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロープのコース ・コーンのコース ・段ボールのコース ・ケンステップのコースをそれぞれ準備する。 5 チャレンジタイム ・障害物に合った走り越え方を比べながらそれぞれのコースを走る。 ・障害物を選んでコースを作るために必要なことを話し合う。（障害物の数、障害物の間隔、障害物ごとの走り越え方の再確認など） ・コースの設計図を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に話し合ったコース作りの約束を確認する。 5 チャレンジタイム ・前時に作ったコースの設計図（ホワイトボード）に沿って、実際に障害物を置いて試走しながら、コース作りをする。 6 リレータイム ・自分たちが作ったコースをそれぞれ走り、リレーを行う。 ・レースを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に作ったコースを再現する。 5 チャレンジタイム ・障害物に合わせた走り越え方に気を付けながらいろいろなコースに挑戦する。 ・自分のチームに戻り、他のコースの面白さを取り入れたコースに変える。 6 リレータイム ・作り変えたコースに挑戦する。 	
	7 まとめ 8 整理運動 9 ふりかえり 10 片付け						
	○次時の見通し ・他の障害物を置いてリレーをしてみよう。	○次時の見通し ・他の障害物を置いてリレーをしてみよう。	○次時の見通し ・障害物をもっとたくさん組み合わせたコースを走ろう。	○次時の見通し ・自分たちで障害物を選んでコースを作ろう。	○次時の見通し 他のチームのコースにも挑戦したい。		
	知		①（観察）		②（観察）		
	思			①（観察・カード）	②（観察・カード）	②（観察）	②（観察）
態	①④（観察）	②（観察）	③（観察）		③（観察）	④（観察）	

5 本時の活動計画（5/6）

（1）本時の目標

- ・障害物の順番や順番など、自分の考えを伝えながらコースを作り、リレーを楽しむ。
- ・勝敗を受け入れながら、リレー遊びを楽しむ。

（2）本時の展開

○児童の主な学習活動 ・予想される児童の思いや考え	* 教師の指導・支援 ☆評価規準（評価方法）【観点】
1 めあての確認(1分)	
<p>㊦自分たちで障害物の置き方や順番を決めてコースを作り、リレーをしよう。</p> <p>2 準備運動(3分)</p> <p>3 ウォーミングアップタイム（3分） ・ねことねずみを行う。</p> <p>4 前時に作ったコースを再現する。(3分) ・チームごとに、障害物を全部使ってコースを作るんだね。 ・ためしに走ってみて、走りにくかったら変えてみよう。</p>	<p>* 児童同士の間隔が狭くならないように声をかける。転倒防止のため、タッチの仕方等、再度確認する。</p> <p>* 前時にどのようなことを意識して障害物を並べたのか確認する。</p> <p>* 素早く行動できるように声をかける。</p>
<p>5 チャレンジタイム（12分） ・チームごとに話し合いながら、コースを作る。</p> <p>・試走しながら、必要に応じてコースを修正する。</p>	<p>* 安全に気を付けて、チームで協力してコース作りができるように、声をかける。</p> <p>* 前時に作成した設計図（ホワイトボード）に沿ってコースを作り、必要に応じて変えていくことを助言する。</p> <p>* 話し合う際には、フープを使い1m程度の間隔を空けたり、密になったりしないように声をかける。</p> <p>* 自分の考えを友達に伝えようとしていたり、友達の意見を聞いたりしている児童を取り上げ、称賛する。</p> <p>☆障害物を置く順番や間隔など、考えたことを周りの人に伝えようとしている。 （思考）【観察】</p>
<p>6 リレータイム①（5分） ・リレーを振り返り、チーム内でアドバイスをしたり、障害物の順番を入れ替えたりするなど、次のレースに向けた準備をする。</p> <p>・すばやく走り越えてよかったよ。 ・折り返した後のダッシュがとても速かったね。 ・走りにくいところがあったから、並べ替えたいな。 ・走る順番を入れ替えてみようか。</p> <p>リレータイム②（5分）</p>	<p>* 一つ一つの障害物の走り越え方のアドバイスをしたり、友達を応援したりしている児童を称賛する。</p> <p>☆リレー遊びの勝敗を受け入れようとしている。（共生）【観察】</p>
7 整理運動(2分)	<p>* 使った部位を意識してほぐすように声を掛ける。</p>
<p>8 まとめ(3分) ・今度は、他のチームの作ったコースに挑戦してみたいな。 ・今日は、〇〇さんの声掛けがよかったです。</p>	<p>* 友達を応援する声掛けやアドバイスをしていた児童を取り上げ、称賛する。</p> <p>* 勝敗を受け入れたり、前向きに運動に取り組んだりできるように、児童の良い言葉を可視化して掲示しておく。</p>
9 ふりかえりを書く(5分)	<p>* 全体でまとめを行い、ふりかえりカードに記入させる。</p>
10 片付け(3分)	<p>* 協力して素早く安全に片付けられるように声を掛ける。</p>

6 参考資料

教材

(低い障害物)

- ・ケンステップ
- ・コーン大
- ・長縄（ロープ）
- ・段ボール

掲示物

- ・それぞれの障害物の走り越え方の図

その他

- ・ホワイトボード
- ・障害物のカード

場の工夫

- ・1チームが使うことができるエリアが分かるように、ラインを引いて区切る。
- ・右側からスタート、左側が折り返しコースのように走る向きを揃えて、安全に運動できるようにする。

コース図

